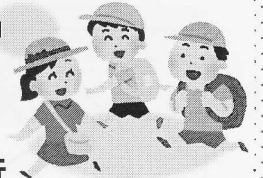


モニター通信



vol.33 平成29年1月1日発行

ごみ減量親子モニターを実施しました！

市内の小学生とその保護者を対象に、ごみと資源に関する講義や工作、また工場見学を通じてごみの減量やリサイクルについて学んでいただきました！

学習したテーマは2つ ①ガラスについて ②紙について

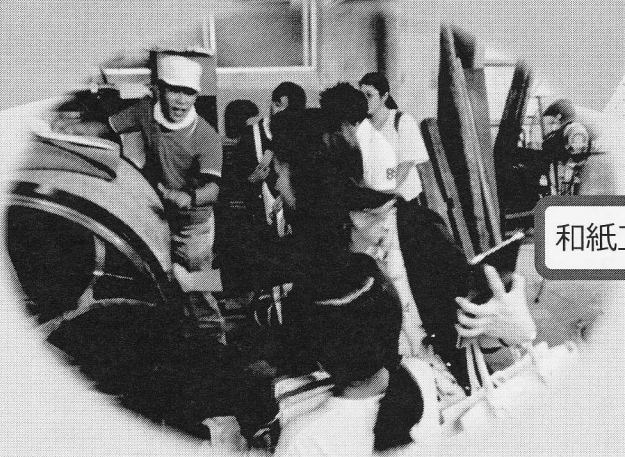
今回は「②紙について」の学習についてご紹介します。



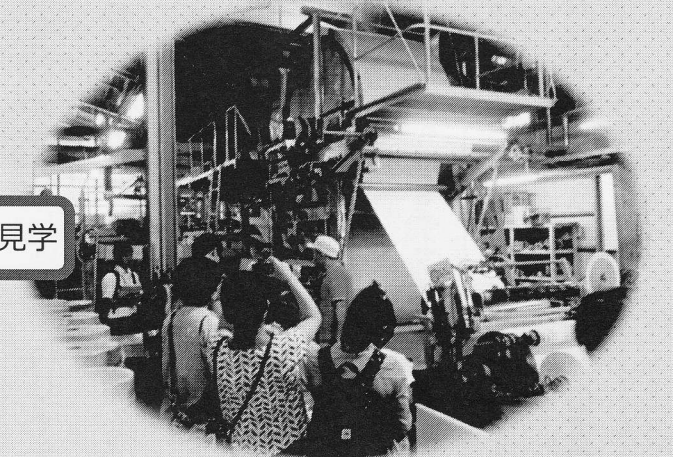
ごみについての学習



牛乳パックを利用したはがき作り



和紙工場を見学

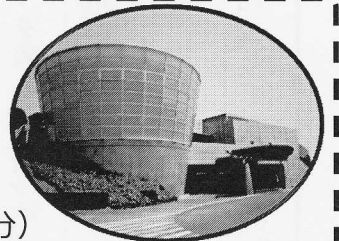


親子モニターにご参加いただいた小学生の皆さんのレポートをエコハウス138で掲示します。

期間：平成29年1月7日（土）～15日（日）
※エコハウス138の開館時間に準ずる

場所：エコハウス138（奥町字八瀬割40番地1）2階エコプラザ壁面

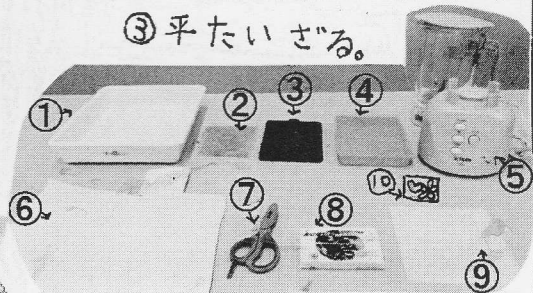
掲示物：「①ガラスについて」「②紙について」のレポート（参加者全員分）



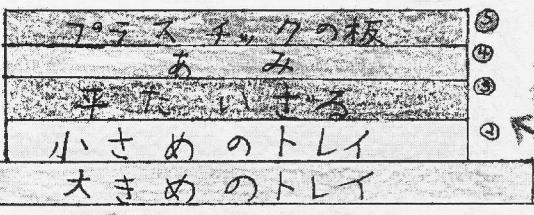


牛乳パックからはがきを作るためのざいりょう

- ①大きめのトレイ
- ②はがきサイズのあみこプラスチックの板
- ④小さめのトレイ
- ⑤ミキサー
- ⑥牛乳パック
- ⑦はさみ
- ⑧ティッシュ
- ⑨ふしよぐふ
- ⑩かざり(おし花など)
- ③平たいざる



4. このじゅんはんにのせていきます。



この真ん中を使う

出来上がり

もようは自分が好きなようにする

たのしいな。

私は紙のこうざで紙を作るのが一番楽しかったです。みなさんに作り方を教えたいと思います。

1. 牛乳パックを5センチにちぎって水にひたします。

2. 牛乳パックのビニールを両面はがします。間の紙を細くちぎって水の入ったミキサーに入れます。

3. やわらかくなったらミキサーをかけます。この時必ずフラッシュを使って下さい。ミキサーを連続して回すとこしょうしてしまつので、長くても3秒くらいまでにして下さい。

4. 大きいトレイの上に小さいトレイ、あみめがあらう平たいざる、あみめが細かいあみの順に重ねます。

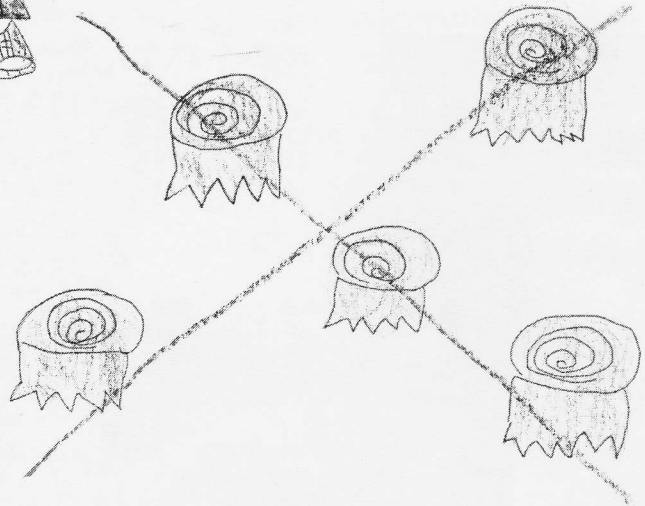
5. 小さいトレイの中にびろびろの牛乳パックを入れます。指を使って牛乳パックを均一にします。かざりをつけてその上にティッシュをかぶせます。

6. プラスチックの板を乗せ水を切ります。ざるをとってからあみをとりまします。

7. はがきにふしよぐふをかぶせてプラスチックをとりまします。かわかせばできあがりです。みなさんもぜひ牛乳パックを再利用して、はがきを作ってみて下さい。

平成28年7月28日(木) 紙の講座

三糸 小学校 四年生 名前: 森徳乃佳



リサイクル

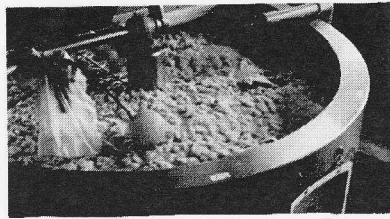


平成 28 年 7 月 28 日 (木) 紙の講座

浅井北小学校 5 年生 名前: 林 長湖

私はゴミ減量に対してあまり知識がなくていつも分別する時にお母さんにこれはもえろかもえないか聞いてゴミを捨てていました。この講座に参加して牛乳パックからパキを自分で作ってみて水だけでよく紙にまたもどるなあ不思議に思いました。お店で紙やトイレトペーパーに「再生紙」と書いてあるのをよく見るけれど紙を作るにも木林の木を切って自然をこわしてしまつので少しでも資源を大切にしていきたいと思つています。これからはあまりゴミを出さないようにしっかりと分別して自然を大切にしていきたいと思つきました。

しんようじゅのパルプ
しんようじゅのパルプは、
トイレペーパーに向いて
いる。

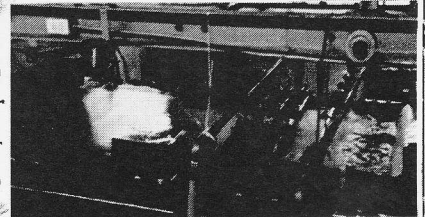


ビーターは、長いせ
んいが短くならな
いように上からた
たいてパルプを水
と混ぜてドロドロの
液体にする。

↑ビーター

こうようじゅのパルプ
こうようじゅのパルプは、
新聞紙に向いている。

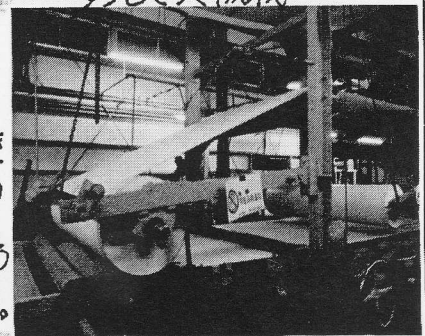
短あみを使っ
て、プラスチックの
あみ。上からシャ
ワーで水をふりして落水
のもようがでる。



↑ゆりしてすく機械

300枚の和紙を、
いっきに切る。
お客様の注文
によって、切る
大きさを変えて
いる。

円あみを使っ
てすく。あみのひよ
めんにもようをつ
けると、原料がき
にくくなりすかし
のもようがでる。
すかしには、いろい
ろなもようがある。

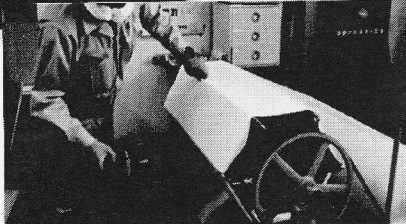


↑ながしすぎ



↑だんさい機

おさえてまっすぐ
にするために、保管
しやすい大きさに
切る。



↑まきとり機

和紙工場の機械

平成28年7月28日(木) 紙の講座

三条小学校 六年生 名前…森美聡

私は、丸重製紙企業組合という和紙の工場に行き、機械で作る和紙の作り方を始めて知りました。和紙の材料は、主にしんようじゅやこうようじゅの木や、あさなどのせんいです。そのせんいを板状にします。それをパルパヤビーターという機械で液状にします。その次にスクリーンという板で、液状の中のゴミをとり除きます。スクリーンは下からたたいて1000mmの穴からせんいだけを通します。その次は紙をすきます。紙をすくすき方は二種類あり、円あみですくながしすぎと、短あみですくすき方の二種類です。紙をすいたら、約百度のドライヤーでかわかします。最後に、おさえてまっすぐにしたリギ、だんさい機で小さく切ります。和紙は、このようにして作られていることを始めて知ることができて、いい体験になりました。これからは、和紙を使っていきたいです。